


回									
覧									

平成20年1月1日《第139号》

<p>&lt;明日を創造する&gt;</p> 	<p>発行：社団法人農協流通研究所 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 TEL(03)5643(3675) FAX(03)5643(3688) 発行責任者：間宮 洋一</p>
--	--

## 年頭の挨拶

店舗研究部長 間宮洋一

新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしく願い申し上げます。

2008年の干支は「ねずみ」。人類よりも前から地球上に存在し、繁殖力、生命力がとても強く、1000種類以上もいて、店舗では殺鼠剤をまかれ、衛生管理上の目の敵にされています。でも一方ディズニーランドでは、大勢の来場者を（大人も子供も）和ませ、新しい年の夢を与えてくれる人気者「ミッキーマウス」として、大活躍しています。同じねずみでも、厄介者になるか、人気者になるか両極端です。

個人的なことで恐縮ですが、私にとって「ねずみ」は「生まれ干支」、あたり年ということになります。迷信を信じるわけではないのですが、「あたり年は、厄年であり、何事も失敗や災いを招きやすいので大きなことを行なうのはさし控えた方がいい」ということのようにです。

「今年は博打まがいのことはやめて、堅実をモットーに中身の充実に努めよう・・・」と新年の初詣は、厄除け祈願をあわせて「殊勝な心？」でスタートすることにしました。

**Aコープの協同活動のあり方が、今年こそ問われる**

昨年（2007年）はAコープにとっても、いわばエポック的な年でした。73年に結成した全国Aコープチェーンを解散し、協同機構を立ち上げるという大決断をしました。で、「その成果？」はということがつい口にしてしまいたくなります。「そう答えを急がせないで下さ

い」「長年かけて形成され、染み付いたAコープのDNAは、そう簡単には変わるものではありませんよ」と・・・私もかつては全国本部に籍を置いて、Aコープの将来方向を議論した時期があります。平成3年には全国AコープチェーンCI計画の担当をし、Aコープの改革、レギュラー化の方向を提案したものの、各論で考えれば考えるほど、やるべきこと、組織上の課題が多すぎるというジレンマに陥りました。

役所的表現である「～を検討する」「～を推進する」という、いわば時間稼ぎをしながら、長い時間をかけて、ようやく新しい組織体（受け皿）を作るところまでこぎつけることができました。（もちろん組織全員の必死の努力によるものですが）新たな協同機構での取り組み提案は、以前とはずいぶん変わり、より現実的な、実態に即したものに変わってきています。

しかし、今後「遅れた分を取戻すために、同じだけの時間をください」といっても、世の中はそんなに甘くはありません。スピードが求められる時代であります。したがって、今年、2008年は、協同機構を中心としたAコープにとって、真価が問われる年、勝負の年といえそうです。

**「事業は人なり」「教育は重要」ということを否定する経営者はいません。でも現実・・・**

新年の抱負を語るとき、あれもこれもといくつも上げるほど、「それはやろうとしたが結局できなかった」というための予防線ではないかと、勘ぐる癖がついてしまいました。

現実問題として、人を教育し、一人前に育てるためには膨大なコストがかかります。だから会議で、建前上では皆で決めたことも、こと教育問題に関しては、逆にますます後退しているかのような印象です。

そこで、農流研という立場から、今年どうしてもやりたい、ぜひAコープ会社にやっていただきたいという問題を2つだけ提示させていただきます。(当然のことながら、協同機構とすりあわせをしている内容です。)

### 実力がある店が勝ち残り、ない店は消滅するのは当然の理

ひとつ目は、「井の中の蛙にならず、チャレンジ精神を発揮、他のSMと同じ目線以上で物事を考えていきましょう」ということです。これは今までのJAの運営、体質への反省でもあります。具体的には、実力をつけるため今年には全国スーパーマーケット協会の「生鮮技能検定」や、セルフサービス協会の「チェッカー技術検定」「食品表示検定」に積極的に取り組んでいきましょうということになります。

スポーツや囲碁や将棋の勝負の世界の勝敗は極めて単純です。実力があるかないかの違いです。敗者の言い訳は通用しません。どんな天才も実力、技量を付けるためには日ごろの努力が要ります。検定試験は、ある部分では努力し、結果が出せる人間かどうかのリトマス試験紙

ともいえます。競合店に勝つためには、努力し、実力、技量を備えた人材の集団でなければならないのは当然のことです。

この「当然の理」を経営者自らが率先垂範し、チャレンジ精神にあふれる職場風土をまず作り上げること。これがまずは第一です。

### 技術革新、時流に乗り遅れるな

二つ目は、「世の中の変化がこれだけ進んでいるのに、相変わらず、3K1T(勘と経験と気合と体力)に頼るSMだとしたら、早く脱皮し、時流に合ったセンスを磨こう」ということです。パソコンでのデータ分析などいろいろありますが、行き過ぎを懸念する声も聞きます。今年、**社員がITを使いこなす**ということで、通信教育としてEラーニングに挑戦してみてください。4月以降、インターネット上に、農流研のUEBとして用意します。店舗中級資格認証コンテンツから入っていきませんが、将来、ネット上でマーク品の知識教育や検定制度など距離の壁を取り払う教育ツールとして、無限の可能性を持っています(パソコンは店舗での設置は少ないと思いますが、教育時間をジョブスケジュールの中に組み込んでください)。

最後に、協同機構の取り組みが(農流研にとっては教育問題が中心ですが)、2008年において結果がでるよう、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 講習会案内

### 1月の講習会

セミナー名： 第115回店舗職員資格認証(初級)講習会  
場 所： 平塚 全農営農・技術センター  
開催日： 平成20年1月22(火)～25日(金)  
申込締切日： 平成20年1月8日(火)

食品表示のセミナーです。是非参加してください。

### 1月のセミナー

セミナー名： テーマ別セミナー 第19回食品安全管理対策セミナー  
場 所： 東京 東京都立産業貿易センター台東館  
開催日： 平成20年1月29(火)  
申込締切日： 平成20年1月15日(火)

\*豊富な事例にもとづき食品表示の安全管理対策、あわせて衛生管理の対策を学びます。法的対応の知識は学ぶしかありません。積極的な参加をお願いします。